令和　7　年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	ともにつくるまち	政策名	人と人とがつながるまちづくり
施策No.	3	施策名	多様な交流と連携の推進
主管課名	地域協働課		
関係課名	商工観光課、企画政策課、生涯学習・スポーツ課		

10年後の目指す姿	産官学連携の交流・体験イベントに市外から多くの人が訪れています。

施策の現状及び課題	現　状	・全国に発信できるスポーツや芸術文化などのイベントと市民や地域レベルでの国際交流サロンの開催により、交流人口・関係人口の拡大に努めています。 ・企業・大学との協働により、様々な包括連携協定を締結し、地域の活性化とより良い市民サービスの提供に向けて課題解決に取り組んでいます。
	課　題	・豊かな地域資源を活用した体験型・滞在型メニューの充実や国際化の進展により外国人が安心して過ごせる環境を整備することにより多様な交流を推進することが必要です。 ・多様化する住民ニーズに対応するため、企業・大学との連携により、地域課題の解決とより良い市民サービスの提供に努めることが必要です。

施策を進めるための役割分担	行　政	・スポーツや芸術文化の各種イベントへの参加者と市民・企業が多様な交流が行えるよう支援します。 ・企業や大学との協働を進め、協定締結や連携により、地域課題の解決に努めます。
	市　民 ・ 事業所	・来訪者や観光客に対し、おもてなしの心で接し、各種イベントをサポートします。 ・企業や大学との連携事業に積極的に参画し、地域課題の解決に努めます。

目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	関係人口の拡大
	基本事業②	産官学連携の推進
	基本事業③	
	基本事業④	

	区　分	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
施策のトータルコスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本	9　(9)	9　(9)	9　(9)	7　(7)	7　(7)	
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	4　(4)	5　(5)	4　(4)	4　(4)	4　(4)	
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	5　(5)	4　(4)	5　(5)	3　(3)	3　(3)	
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	B. 事業費　（事務事業の事業費合計）	千円	448,118	501,463	685,128	459,471	557,403	
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	435,314	495,599	682,485	459,471	557,403	
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	12,804	5,864	2,643	0	0	
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	16	15	12	8	10	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	7,300	7,200	4,710	4,410	4,510	
	E. 人件費　（D×1時間あたりの平均人件費）	千円	28,638	27,907	18,633	18,099	19,181	
	F. トータルコスト　（B＋E）	千円	476,756	529,370	703,761	477,570	576,584	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費　（定義式　：　B／人口）	円	11,071	12,562	17,445	11,898	14,667	
	同　上 H. 人件費　（定義式　：　E／人口）	円	708	699	474	469	505	
	同　上 I. トータルコスト　（定義式　：　F／人口）	円	11,778	13,261	17,919	12,367	15,171	
参　考	1時間あたりの平均人件費	円	3,923	3,876	3,956	4,104	4,253	
	魚津市の人口（各年度12月末時点）	人	40,477	39,919	39,274	38,617	38,005	

基本事業概要シート①

施策No.	3	施策名	多様な交流と連携の推進
基本事業名		①関係人口の拡大	
基本事業の目的(意図)		各種コンベンションの誘致やスポーツや芸術文化のイベントの開催に対する支援を行い、市外からの来訪者や観光客の増加に取り組み、来訪者との交流を通して関係人口の拡大に努めます。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【ふるさと納税推進事業】(施策22①再掲) ・寄附の受付サイトなどを24から28に、また、返礼品を791品から922品に増やすなど寄附者の利便性の向上やニーズに合わせた商品の開発、地域産業の活性化に努めました。 ・たてもん祭りをテーマとしたクラウドファンディングを実施しました。 【国際交流・多文化共生推進事業】 ・国際交流サロンを3回、国際理解事業を1回開催し、交流の機会を設けました。 ・在住外国人に日本語ボランティア教室を延べ172回実施し、日常生活で使う日本語や生活習慣を学んでもらい、地域における対応力を高めました。 ・日本語ボランティア講師による定例会を隔月(計6回)開催し、事業の問題点・課題点の情報共有を図りました。 【関係人口創出・拡大事業】 ・市外在住のテレワーカー等を募集し、「たてもん祭り」町内会活動及び「うおづキャンドルロード」運営支援の地域貢献活動を目的とした「魚津まっつり応援団」に、全国から55名の参加がありました。 ・第2のふるさとづくりプロジェクトを実施し、1～3学期で16日間滞在し、星の杜小学校へ2名(2家族)の体験入学されました。 ・博物館ワーケーションを2回実施し、16名の参加がありました。 ・首都圏在住者向け移住相談フェアへ4回参加し、50人の相談がありました。 【コンベンション開催支援事業】(施策22③再掲) ・富山県内で開催の県外宿泊者50名以上のコンベンション(学会、大会、合宿等)を主催した2団体に対し、県外宿泊者1人につき1,000円を支援しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
観光客入込数	千人	1,536	881	1,557	1,536	1,567	1,598	1,630	1,700
				923	1,144	1,289	1,315	1,384	(8年度1,663)
国際交流推進員登録者数	人	24	20	21	21	20	20	20	20
				16	16	15	15	15	
魚津市ふるさと寄附の件数	件	4,321	9,544	14,000	20,000	24,000	28,000	32,000	40,000
				11,684	11,936	12,718	13,921	9,498	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○ ふるさと納税推進事業	600,749,000	551,649,958	49,099,042	0	A	企画政策課
2	一般会計	○ 国際交流・多文化共生推進事業	301,000	252,726	48,274	0	A	地域協働課
3	一般会計	○ 関係人口創出・拡大事業	11,160,000	4,850,346	6,309,654	3,046,000	A	地域協働課
4	一般会計	○ コンベンション開催事業	2,150,000	650,000	1,500,000	0	B	商工観光課
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
合計			614,360,000	557,403,030	56,956,970	3,046,000		

基本事業概要シート②

施策No.	3	施策名	多様な交流と連携の推進
基本事業名		②産官学連携の推進	
基本事業の目的(意図)		課題解決や地域の活性化のために企業や大学等との連携事業に取り組みます。	
令和7年度における 主な事業内容(活動内容)		【能開大との共同研究】 ・埋没林博物館と連携し、蜃気楼自動判定システムの開発に取り組みました。 【地域人教育推進事業】 ・地域資源や地域が抱える課題などについての講義を行ったほか、地域課題解決の考え方のレクチャーやインターンシップへの協力を行いました。また、地域の事業者と地域課題解決に資する商品の開発を行い、ふるさと納税の返礼品としました。 【官民連携事業】 ・企業等との連携協定を新たに3者と協定締結し、連携事業に取り組んでいくこととしました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
企業・学校・団体等との協働による事業数	件	29	27	31	32	33	34	35	40
				41	52	65	66	59	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	予算なし	○ 能開大との共同研究	0	0	0	0	A	企画政策課
2	予算なし	○ 地域人教育推進事業(富大、新川高校:新川創生プロジェクト)	0	0	0	0	B	企画政策課
3	予算なし	官民連携事業	0	0	0	0	−	企画政策課
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
合計			0	0	0	0		

施策No.	3	施策名	多様な交流と連携の推進

令和7年度の評価結果（基本事業の成果を考慮し記載）

1. 施策（基本事業）の成果水準とその背景
（成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述）

【①関係人口の拡大】
◆令和7年度の「観光客入込数」は、1,384千人（昨年比69千人増）と増加してますが、コロナ禍前の令和元年度と比較すると152千人の減少となっており、目標値の1,598千人を大きく下回っています。
◆「国際交流推進員登録者数」は、15人（前年度比増減なし）となり、目標値の20人を下回っています。
◆ふるさと納税については、寄附金額が1,376,110千円（196,914千円増）、寄附件数が9,498件（4,423件減）の実績となりました。
◆日本語教室の外国人受講者が13名となり、前年度と同数となっています。

【②産官学連携の推進】
◆企業等との連携協定については、新たに6者と協定締結し、合計で31件となりました。
◆「企業・学校・団体等との協働による事業数」は、59件（前年度比7件減）となりましたが、目標値の35件を上回っています。

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み（事務事業）の総括
（令和7年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述）

【①関係人口の拡大】
＜ふるさと納税推進事業＞
◆ふるさと納税については、寄附の受付サイトなどを24から28に、また、返礼品を791品から922品に増やすなど、寄附者の利便性の向上やニーズに合わせた商品の開発に努めたことにより寄附額の増加につながりました。

＜国際交流推進事業＞
◆日本語ボランティアは、隔月に一度定例会を開催のうえ外国人受講者の実施状況等を共有しながら活動し、在住外国人の暮らしやすい生活環境の整備に努めました。

＜関係人口創出・拡大事業＞
◆まっつり応援団事業は地域貢献活動を通じて、参加者と地域住民との関係性の深化を図ることができました。
◆魚津第一次産業ワーケーション事業を通じ、より幅広い関係人口の創出・拡大に繋がりました。

【②産官学連携の推進】
＜官民連携事業＞
◆魚津高等学校において、地域探究に関する講義やアドバイスを行い、若者によるまちづくりや地域課題解決を進めました。
◆パナソニック㈱スポーツ事業センター（現　パナソニックスポーツ㈱）との連携協定に伴うクリニック（バレーボール、野球、ラグビー）を引き続き開催し、スポーツ少年団や中学・高校部活動の競技レベルの向上に努めました。
◆ソフトバンク㈱の社会貢献活動の一環として、初心者・高齢者を対象にしたスマホ教室が開催され、計154名の方が受講し、市民のITリテラシーの向上及びデジタルデバイド（情報格差）の解消につながりました。
◆明治安田生命との連携による「ベジチェック測定」により、市民の野菜摂取量の増加に向けた取組を推進することができました。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
（前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述）

【①関係人口の拡大】
◆ふるさと納税については、今後も寄附者の利便性の向上や新たな地域産品を掘り起こし、ニーズに合わせた商品の開発に努め、寄附金額の増加や魚津市の魅力発信につなげていきます。
◆県との連携を図りながら、ワーケーションポータルサイト「ふらっとuozu.」からワーケーション、関係人口創出イベント、テレワーク施設等の関連情報を掲載し、市外から多くの方がワーケーション等で訪れてもらえるよう魅力発信につなげていきます。
◆地域貢献活動や就業体験、地域住民との交流による関係性の深化を図れる事業に取り組んでいきます。
◆日本語ボランティア等や国際交流推進員と連携し、在住外国人が地域活動に参加できる環境を整えます。
◆幅広い団体が連携したスポーツコミッション組織により、スポーツを通じた地域活性化を図ります。

【②産官学連携の推進】
◆今後も、地域課題の解決やより良い市民サービスの提供、市の活性化につながることを目指し、企業等との更なる連携強化を図り、事業に取り組んでいきます。